

第七十四回帝國議會 院 酪農業調整法案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
酪農業調整法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月二日(木曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 田中 万逸君

理事池田 清秋君 理事鹽川 正藏君

理事深澤 吉平君 理事藤生安太郎君

坂下仙一郎君 篠原 陸朗君

小林 三郎君 河野 一郎君

永山 忠則君 小田 榮君

野溝 勝君

出席政府委員左ノ如シ

農林省畜産局長 岸 良一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酪農業調整法案(政府提出)

○田中委員長 是ヨリ開會致シマス、通告

順ニ依ツテ質問ヲ許シマス——池田君

○池田委員 根本的ノ問題トシテ當局ハ酪農、主トシテ牛乳デアリマスガ、主食品トシテノ牛乳問題ヲ如何ニ考ヘテ居ラレカト云フ點ヲ主トシテ伺ヒタイノデアリマス、從來我國ニ於テハ畜類ノ肉ヲ食ヘルトカ、乳ヲ飲ムトカト云フコトニ付テハ一種ノ迷信的罪惡觀念ノ如キモノガアツテ、四ツ足

ノ乳ヲ飲ンデハ神罰ガ恐シイト云フヤウナコトデ非常ニ之ヲ遠ザケテ居ツタ傾ガアルノデアリマス、併シ是ハ深澤君モ本會議デ質問サレタヤウデアリマシタガ、主觀的、迷信的デアツテ、人間ノ主食物トシテ人體ニ如何ナル榮養價ヲ持ツテ居ルカト云フヤウナ客觀的研究ノ少イ觀念ダラウト私ハ思フノデアリマス、併シナガラ人間ハ一種ノ動物デ、高等動物デアアルノデアリマシテ、人體ノ組織ニ牛乳ノ榮養價ガドンナ關係ニアルカト云フコトヲ、主觀的ニ見ナイデ、客觀的ニ考ヘルコト、人間トシテノ理性的ノ考デナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ意味ニ於テ今マデ牛乳ヲ國民ノ主食物トシテハ、全ク取扱ツテ居ラレナカツタトサウトスルニハ、文部省、厚生省ト連絡ヲ取ツテ食品ニ對スル之ヲ一ツノ基礎觀念トシテ掛ツテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、今更申スマデモナイコトダト思フノデアリマスガ、牛乳ガ人體ニ殊ニ幼兒ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、是ハ明瞭ナコトデアルト思フノデアリマシテ、其ノ點ニ於テ都會ノ小兒ガ一歳ニ

歳ニナルマデハ非常ニ榮養ニ富ンデ居ツテ宜イト云フノハ、近來都會ニ於テハ牛乳ヲ多ク用ヒルカラデアルト思フノデアリマス、併シナガラ都會ノ子供ガ四歳五歳ニナリ、少年ニナリ、青年ニナルト體質ガ惡クナルト云フコトハ、環境其ノ他ノ關係モアルト思フノデアリマシテ、ソレハ主トシテ食料ノ關係ニ於テ牛乳ヲ離レルカラト云フ點バカリデハナイト思ヒマス、而シテ青年壯年ノ體格ガ田舎良イト云フコトハ食料ガ粗食ダカラト云フ意味デナク、粗食物デアツテモ適當ナ運動ヲシ、環境ノ空氣ガ宜シイカラト云フヤウナ關係ガアルト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ國家トシテハ主トシテ營養食ノ立場カラ酪農業ヲ盛ニシ、供給ヲ潤澤ニスルト云フ建前ガ根本的ニ考ヘラレナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テハ一朝一夕ニ之ヲ改メルト云フコトハ出來ナイト思ヒマスケレドモ、農林省ガ文部省或ハ厚生省ト連絡ヲ執ラレテ、主食品ニ關スル所ノ頭ヲ國民ニ向ツテ改メサセルト云フコトニ付テ全力ヲ盡サレル必要ガアルト私ハ思フノデアリマス、此ノ根本觀念ニ對シテ當局ハ如何ナル考ヲ持

ツテ居ラレカ、厚生省ハ此ノ頃出來タ役所デアリマスガ、文部省等ニ於テモドンナ考ヲ持ツテ居ラレカ、此ノ點ヲ承リタイノデアリマス
更ニソレニ附加ヘテ申上ゲマス、一寸私調ベタノデアリマスガ、全ク日本人ノ牛乳ニ對スル觀念ト云フモノハ驚クベキモノガアル、英吉利ダトカ、獨逸ダトカ、瑞典ダトカ云フヤウナ所デハ、——英吉利ハソレ程デモナイノデアリマスガ、一箇年一人當リニ二石カラ二石五斗位ノ牛乳ヲ飲用シテ居ルト云フコトデアリマス、日本ノハ之ニ比較シテ見マスト、全ク問題ニナラスト思フノデアリマス、極ク最近ノモノデ東京、大阪ト云フヤウナ所デ平均シテ東京ガ一人當リ一箇年ノ消費量ガ一升七合、一升八合、一升九合、明治四十年ニナツテ漸ク一人當リ一箇年ノ消費量ガ二升トナツテ居ルノデアリマス、今日ニ於テハ尙ホソレヨリハ相當ニ進ンデ居ルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ關係デハ國民ノ體質ガ良クナラスト云フコトハ是ハ言フマデモナイコトダト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ根本的ノ觀念、即チ牛乳ヲ主食物トシテ、榮養價ガドウ云フ

風ニアルカラ此ノ點ヲ改良シナケレバナラ
スト云フ所ノ觀念ヲ以テ、厚生省及ビ文部
省等ト牛乳ニ關スル知識ヲ擴メル考ヲ持ツ
テ居ラレルカ、從來ドウ云フ經緯ニ於テ此
ノ主食品トシテノ根本ノ考ヲ持ツテ居ラレ
タカラ伺ヒタイノデアリマス

ソレカラ次ニハ酪農トシテノ根本觀念デ
アリマスガ、副業トシテト主タル農業トシ
テトノ二ツノ考ヘ方ガアルト思フノデアリ
マス、副業トスル場合ニ於テハ牧場トカ牧
野トカ、サウ云フモノハソレ程デナクテモ
宜シイト思フノデアリマス、主タル農業ト
シテ酪農經營ヲヤラウトスルナラバ、ドウ
シテモ是ハ粗飼料ヲ主食品トスル所ノ牧草
ヲ豊富ニ貯ヘテ居ル牧場、及ビ牧野ガ必要
デアルト思フノデアリマス、併シ牧野ハ必
要ダト申シマシテモ、馬ナドトハ到底比較ニ
ナラヌノデアリマシテ、一頭當リ僅ニ三段
カ四段アレバ宜シイト思フノデアリマス、
我が日本トシテハ北海道等ニ於テハ主タル
農業トシテノ經營方法ガ相當ニ講ゼラレテ
居ルト思フノデアリマスガ、併シナガラ土
地ノ凸凹ガ多ク狭イ我が日本トシテハ、北海
道以外ニ於テハ副業トシテノ酪農生産ヲス
ルヨリ外ニ方法ハナイト思フノデアリマス、
豫算ノ何レヲ見マシテモ、副業トシテノ農

家ニ對スル粗飼料ノ供給、或ハ飼料ノ關係
ニ付テハ、殆ド見ルニ足ルモノガナイノデ
アリマス、本年度ノ豫算ノ上ヲ見マシテモ、
牛ノ増殖促進施設ト云フノガ八十八万八千
圓カ計上サレテ居ルガデアリマシテ、其
ノ他ノ種牝牛ニ關スル検査費トカ何トカ多
少アリマスケレドモ、殆ド見ルニ足ラヌモ
ノデアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ付
テ當局ハ副業トシテノ將來ニ重キヲ置カレ
ルカ、主タル酪農生産業ニ重キヲ置カレ
ルノデアルカ、兩者合セテノ進歩發展ヲ企圖
サレルノダト思フノデアリマスケレドモ、
此ノ點ニ關シテ何レニ重キヲ置カレルノカ、
ドウ云フ方法デ之ヲ發達助長ヲサセテ行カ
ウト考ヘテ居ラレルノデアルカドウカ、之
ヲ御同致シタイノデアリマス、之ニ附加ヘ
テ申上ゲタイノデアリマスガ、土地ガ狭イ
カラト云ツテ、決シテ悲觀スル必要ハナイ
ト思フノデアリマス、唯之ニ關スル所ノ飼
料ノ關係サヘ少シク考ヲ致スナラバ、決シ
テ悲觀スルコトハナイト私ハ思フノデアリ
マス、土地ノ狭イ日本ノ如キ地形ヲ以テシ
テハ、農業ヲ主トシテ副業トシテヤル以外
ニ方法ハナイト云フ悲觀論モアルノデアリ
マスケレドモ、必ズシモ悲觀スル必要ハナ
イト思フノデアリマス、所ニ依ツテ狭イ所

デ氣候ノ關係、地質等ノ關係デ、優秀ナル
牛ヲ澤山出シテ居ツテ、副業ガ轉ジテ將ニ
主タル業務トナラントシツツアル傾向ガア
ルト思フノデアリマス、此ノ點ニ關スル當
局ノ御考ハドウデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ
ノデアリマス、更ニ伺ヒタイノハ飼料ニ付
テ當局ハドウ云フ施設ヲサレテ居ルカ、此
ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ間本會
議デ深澤君モ一寸聽カレタヤウデアリマシ
タガ、滿洲ノ豆粕其ノ他ノ畜産飼料トシテ
ノ農産物デアルト思フノデアリマスガ、運
送料等ニ付テ非常ニ高ク當リマスノデ、金
ヲ出シテ飼料ヲ買入レテ酪農ヲ副業的ニヤ
リマス、千葉縣等ニ於テモ牛乳ヲ賣ツテ飼
料ノ代價ヲ差引ケバ一升當リ甚シイ不況時
代ニハ四錢八厘カノ缺損ヲシテ居ルノデ
アリマス、只今ハソレ程デナイト思ヒマ
スケレドモ、尙且ツ乳價ダケダトソレハ
到底收支償ハナイノデアリマス、生産シ
タ所ノ牛乳ヲ、會社組織ニナツテ居ル乳
製品製造業者等ニ叩買ヒサレテシマツテ、
常ニ充ガヒ扶持ヲ食ツテ居ルト云フヤウナ
狀況デアアルノデアリマスガ、其ノ原因ハ主
トシテ飼料ガ高イカラ割ニ合ハヌト云フ結
果デアルト思フノデアリマス、當局ノ飼料

ニ對スル今マデノ措置ハドシナ措置ヲシテ
居ラレルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマ
ス
更ニ伺ヒタイノハ、農林當局トシテハ、
馬ニ付テハ馬政局ト云フ一ツノ局ヲ置カレ
テ居ル位デアリマシテ、其ノ經費ハ非常ニ
大キナモノデアリマスガ、牛ニ付テハサウ
云フ組織ハ殆ド何モ見ルベキモノハナイト
云ウテ宜シイト思フノデアリマス、八十八
万圓ノ牛ノ増殖計畫ノ補助費ヲ除イテハ何
モナイノデアリマスガ、將來牛政局ヲ置ク
トマデハ行カナイトシテモ、最モ人間ノ榮
養食トシテ大事ナ牛乳ノ製造、搾取ニ關ス
ル酪農事業ニ對スル機構ヲ、馬政局ト將來
竝ンデ行クヤウニマデヤラウト云フ心組ヲ
持ツテ居ラレルカドウカ、サウ云フ機構等
ニ付テ御考ガアルナラバ伺ヒタイノデアリ
マス、要スルニ牛ニ對スル我々國民ノ考ガ
幼稚デアツタト云フコト、觀念上牛ニ對ス
ル根本的ノ相違カラ來テ酪農事業ガ進歩シ
ナカツタト云フコトニ歸スルト思フノデア
リマス、之ニ付テハ今度出來マシタ酪農法
案ハ生産の方面ニ對シテハ組合等ヲ作ラセ
テ、色々基礎ノ強化ヲ圖ラルルヤウニナツ
テ居ルヤウデアリマスケレドモ、尙ホノ
相當ノ設備ヲシナケレバナラスト思フノデ

アリマス、從來ノ設備ニ於テ、牛乳ニ關スル製造ニシロ、販賣ニシロ、機構ハ出來テ居ラナカツタノデアリマスケレドモ、比較的資本ヲ相當ニ持つテ居ル者ニ對スル補助獎勵等ノ仕組ハ出來テ居ルノデアリマスガ、副業的ニ牛ヲ飼ツテ居ル生産業者ニ對スル世話ハ行届イテ居ラスト思フノデアリマス、是ハ大資本ト小資本トノ關係ニ付テ、今マデノ之ニ關スル法規ヲ考ヘテ見マス、衛生設備ノ如キモ非常ニ細カナ點ニ於テ嚴重ナ取締ヲスルガ爲ニ、小資本家ハ殆ド立ツテ行カナイ狀況デアルニ反シテ、或ハ都會ニ近キ所ニ於テ、若クハ田舎ニ於テモ相當ノ資本ヲ持つテ居ル者ニ對シテハ、比較的此ノ取締規定ニ適合スルヤウナ設備ガ出來ルノデアリマス、然ルニマルキリ資本ノナイ、米麥作等ノ農業ノ小作人ニ匹敵スルヤウナ副業的ノ畜牛業者ニ取ツテハ、全ク之ヲ助長進歩セシムル規定ニハナラスト思フノデアリマスガ、之ニ對スル當局ノ御考ハドウデアルカ伺ヒタイノデアリマス

更ニ資金ノ不足ニ付テ、一頭カ二頭持つテ居ル、牛ヲ賣ツテシマヘバ、ソレデ借金ヲ支拂ト云フコトニナルト、全ク其ノ次カラハ經營ガ出來スト云フヤウナ狀況ニナルノデアリマスガ、斯ウ云フ資金ノ不足ナモ

ノニ對シテ、政府ハ何カ資金ヲ融通シテヤルト云フヤウナ方法ヲ考ヘテ居ラレカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、私共ノ千葉縣ノ如キハ相當ニ良イ牛ガ出テ居リマス、全國ニ於テハ最モ優秀ダト稱セラレテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ副業的ニ飼ツテ居ルノデアリマスカラ、一二頭、多クテモ十頭トハ持つテ居ラヌノデアリマス、之ヲ賣ツテシマツテ借金ヲ返スト、其ノ後ハドウスルコトモ出來スト云フ狀況デアリマシテ、斯ウ云フ業者ニ對スル金融關係ニ付テ顧慮スル必要ガアルト思フノデアリマスガ、當局ノ之ニ對スル御考ハドウデアルカ、伺ヒタイノデアリマス

更ニ東京、大阪ノ如キ大都會ヲ控ヘテ居ル生産業者ハ、汽車等ニ依ツテ生乳ヲ送ツテ居ルノデアリマスガ、衛生設備ガ非常ニ不完全デアリシ、且ツ輸送機關タル汽車ノ裝置ガ不完全ナ爲ニ、或ハ嚴重ナル取締ガアル爲ニ、殆ド此ノ送乳ヲ不可能ナラシムルガ如キ傾キガアルト思フノデアリマス、之ニ對シテ鐵道省ト交渉シテ、送乳機關ノ設備改善ヲナサルト云フコト、若クハ此ノ取締ヲ緩和シテ、小資本ノ業者ト雖モ、都會ニ送乳スルコトガ出來ルヤウナ設備ヲサセルト云フコトニ付テ、當局ハ如何ナル

考ヲ持つテ居ラレカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

更ニ只今具體的ニ問題トナツテ居ル酪農業法ノ内容ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、此ノ規定ハ主トシテ牛乳ノ販賣又ハ乳製品ノ價格ノ統制等ニ付テ重キヲ置カレテ、極ク小サナ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ニ對シテノ保護助成ノ點ガ少イト云フ傾キガアルヤウニ私ハ思フノデアリマスガ、當局ハ此ノ生産業者ヲ保護スル上ニ於テ、此ノ規定ヲ以テ足レリトサレルノデアアルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ此ノ規定ヲ運用スル上ニ付テ、是ハ概括的ノ考デアリマスガ、色々ノ統制命令等ニ業者ハ束縛ヲサレルヤウニナツテ居ツテ、或ル場合ニ於テハ、統制ニ關スル決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得ト云フヤウナ規定ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ命令ガ正當デナカツタト云フ場合ニ、ソレニ對シテ救済ヲ求ムル方法ガ何ニモ定メテナイヤウニ思ヒマス、勿論是ハ沒收ヲスルトカ云フ規定ガナイノデアリマスカラ、補償規定等マデ設ケル必要ハナイト思フノデアリマスケレドモ、其ノ命令ガ不當ナ場合ニ於テ何等カ救済ヲスル方法ヲ設ケルコトハ出來ナイノデアアルカ、サウ云フ救済ヲスベキ規定ヲシテモ宜シイト云

フ考ガアルカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、以上ノ點ニ付テ御答ヲ得タイノデアリマス

○岸政府委員 池田サンノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、御質問ハハツカ九ツ、非常ニ多數アリマスノデ、一ツ／＼順ヲ逐ウテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ノ點ハ牛乳ヲ主食物ノヤウニスル考ハナイカ、斯ウ云フヤウナ點デアツタラウト思フノデアリマス、牛乳ノ性質カラ考ヘマシテ、其ノ成分ガ食料トシテ非常ニ貴重ナモノデアルト云フコトハ改メテ申スマデモナイノデアリマス、其ノ脂肪ニ含有サレテ居リマス所ノ「ビタミン」ノ效用、蛋白質ノ效用ト云フヤウナモノカラ考ヘマシテ、食料品中ニ於テ一番優良ナル品質ヲ持つテ居ルモノデアリマス、此ノ種ノモノハ我國ノ食料カラ見マスルト、非常ニ缺ケテ居ルノデアリマシテ、我國ノ食料ハ、過日本會議深澤サンノ仰シヤツタヤウニ、炭水化物ヲ主トシタモノデアアルノデアリマス、其ノ中ニ蛋白質ノ如キハ割合ニ少イ、而モ良質ノ蛋白質ガ少イト云フ狀態デアリマス、斯ウ云フヤウナ見地カラ致シマシテ、一般ノ國民ハ固ヨリ、特ニ若イ所ノ人々ノ爲ニ、之ヲ一ツノ主要食料ノ中ニ加ヘテ普及セシメ

ルト云フコトハ、極メテ大切ナコトデア
ノデアリマス、餘程前ノコトデアリマス
ガ、人口食糧問題ノ時ニ、此ノ點ハ各方面
カラノ専門家ニ依ツテ、内務省ノ衛生局其
ノ他食糧ノ研究所等ノ御方モ參畫サレタ
デアリマスガ、各方面ノ御研究ニ依ツテ、
此ノ牛乳ニ依ル所ノ日本人ノ榮養改善ニ資
シナケレバナラヌト云フ方針ガ、決議サレ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコト
カラ申シマスレバ、私共ハ此ノ普及ニ對シ
テ、現在計畫シテ居リマスルヨリモ、遙ニ
大キナモノヲ企畫シテ進マナケレバナラヌ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ニ對シマ
シテハ固ヨリ厚生省等ト十分ニ連絡ヲ取リ
マシテ、此ノ給源デアル所ノ牛乳ヲ、單ニ
都市附近ノ搾乳業者バカリデナクシテ、農
家ニ於テ生産サレルモノヲ各方面ニ供給シ
テ豐富ニ利用ノ出來ルヤウナ計畫ヲシテ、
今日マデ進ンデ參ツタノデアリマス、是ガ
爲ニハ小サナ農家ガ生産スル少量ノ牛乳ヲ
集メテ、立派ナル所ノ設備ニ於テ生産サレ
ル牛乳ニ等シヤウナモノヲ作り出スベク、
牛乳ノ共同處理ト云フモノヲ地方ニ獎勵致
シマシテ、是等ノ獎勵ニ依リマシテ今日マ
デ施設ヲシテ居ル團體ハ、恐ラク九十以上
ヲ數ヘテ居ルコトダラウト思フノデアリマ

ス、之ニ依ツテ所謂農乳ノ都市方面ヘノ進
出モ進メテ參リ、又牛乳及ビ乳製品ノ消費
ニ付キマシテハ、大正十五年以來色々ナ形
ニ於テ、其ノ消費ヲ獎勵シテ居ルノデアリ
マス、是等ノ施設ニ付キマシテハ、勿論將
來トモ衛生方面ト十分ニ連絡ヲ取ツテ進メ
テ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、外
國ノ狀態ヲ御示シナサツタノデアリマスガ、
其ノ消費ノ量ニ於キマシテハ全ク御示シ
通りデアリマス、唯食料ノ形態等カラ致シ
マシテ、歐洲方面ノ量ニ達スルカドウカト
云フコトハ、是ハ中々問題デアラウト思ヒ
マスルガ、漸次其ノ量ヲ増加サシテ行
キマシテ、サウシテ人口食糧問題當時
ニ於テ研究サレマシタ量程度ニハ、
之ヲ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス
其ノ次ハ日本ノ酪農ハ副業ト主業ト兩者
ノ形態ニ於テ行ハレテ居ルガ、農林省ハ何
レニ重點ヲ置イテ獎勵ヲサレルカト云フヤ
ウナ御質問デアツタト思フノデアリマス、
我國ノ酪農業ハ勿論我國ノ農業形態ニ合ツ
テ發達シテ行カナケレバナラヌモノデア
ルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ歐米ニ
於ケルヤウナ形式トハ、恐ラク異ツタ形デ
進ンデ行クノデアラウト思フノデアリマス、
固ヨリ御話ノ如ク北海道ト内地トヲ比ベ

マスルト、北海道ハ一戸當リガ五町步餘ニ
モナツテ居リマスルシ、内地デハ平均一町
步足ラズノ狀態ヲ示シテ居ルノデアリマス
ルカラ、其ノ間必ズ形式ニ相違ガ生レテ來
ルノデアリマス、北海道ニ於キマシテハ御
話ノ如ク、主タル形式ヲ牧畜ニ置イテ居ル
所ガ多々アリマス、併シ何レヲ通ジマシテ
モ私共ハ多年唱道致シテ參リマシタ有畜農
業ノ考、即チ從來ノ單ニ牛ナラ牛ヲ、乳ヲ
搾ルダケノ道具トシテ取扱ツタト云フコト
カラ脱却致シマシテ、牛ノ機能ヲ農業經營
ノ機能ト渾然一體ニシテ導イテ行ク、即チ
牛カラ出ル所ノ排泄物ハ、之ヲ農業經營上
ノ肥料トシテ利用スル、餘ル力ハ勞力ニ使
フ、又農業カラ出ル所ノ副生物ハ之ヲ牛馬
ニ食ハシテ完全ニ牛馬ヲ動カス、斯ウ云ツ
タヤウナ考ノ下ニ、其ノ地方ニ於ケル立地
關係デ相違致シマシテ、形態ニ差ヲ考ヘコ
ソスレ、何レモ其ノ考デ進メテ行キタイト
考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ酪農
ニ付キマシテモ、ヤハリサウ云フ考ノ下ニ
進ンデ行キタイト思フノデアリマスルガ、
内地ハ自然面積モ小サイノデアリマスルノ
デ、北海道ニ於ケル如ク牧草或ハ飼料作物
ヲ中心ニ之ヲ飼育スルト云フコトハ、中々
困難デアルノデアリマス、或ル時期ニ於テ

青刈大豆、青刈玉蜀黍等ヲ利用スルコトモ
アラウト思ヒマスガ、他ノ部分ニ於キマシ
テハ農業ノ副産物ヲ有利ニ利用スルト云フ
コトヨリ外ナイト思フノデアリマス、此ノ
利用ガ完全ニ行キマスナラバ、日本ノ農家
ガ現在ノヤウニ規模ガ小サクテモ、乳牛ノ
飼育ニ依ツテ一般有畜農業ノ經營ヲヤツテ
行ケルト思フノデアリマス、此ノ點ニ於キ
マシテ粗飼料ノ供給關係ヲドウスルカト云
フコトニ付キマシテハ、昨年御協賛ヲ戴キ
マシタ自給飼料ノ獎勵規則ニ依リマシテ、
農家ニ「サイロ」ト稱スル粗飼料ノ貯藏倉ヲ
造ラセマシテ、ソレニ芋穀デアルトカ或ハ
蠶ノ蠶下デアルトカ、山野ノ野草デアルト
カ、或ハ極端ナ例ヲ申シマス、柿澁ヲ取
ツタ殘滓ト云ツタヤウナモノマデモ之ヲ漬
物ニ致シマシテ、サウシテ冬期粗飼料ノナ
イ時ニ利用サセル、元來牛ト云フモノハ粗
飼料ヲ中心ニシテ飼ツテ行クモノデアリマ
スカラ、サウ云フ風ニ粗飼料ヲヤツテ行キ
マス、割合良質ナル粗飼料ガ得ラレテ行
ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
デアリマスノデ其ノ形態ニ應ジテ今ノヤウ
ナ方法ヲ採ツテ行キタイト考ヘテ居ル次第
デアリマス
其ノ次ハ飼料ニ關スル施設トシテドウ云

フコトヲシテ居ルカ、斯ウ云フ御質問デア
リマスガ、飼料ニ付キマシテハ、昨年先程
申上ゲマシタ自給飼料ノ獎勵ニ依リマシテ、
粗飼料ヲ最モ榮養價值ノアル時ニ之ヲ貯藏
シテ、サウシテ良イ粗飼料ヲ豐富ニ供給サ
セルト云フコトヲヤツテ居リマスルコトガ
一ツデアリマスガ、是ハ一面ニ於キマシテ
現在外國カラ仰イデ居リマスル所ノ濃厚飼
料ノ節約ニモ寄與セントシテヤツテ居ルノ
デアリマス、其ノ他輸入飼料ニ付キマシテハ、
國際收支ノ關係カラ其ノ大部分ヲ滿洲國ニ依
存シナケレバナラヌヤウニ立至リマシタノデ、
其ノ滿洲國ノ供給ヲ中心ニ致シマシテ輸入
飼料ヲ統制シテ、其ノ供給ヲ確實ニシテ行
クト云フコトデ、飼料配給統制法ノ御協賛
ヲ願ヒ、之ニ從ヒマシテ、民間ノ關係者ノ
設立致シマシタ飼料配給會社ヲ指定シテ、
外國飼料ノ一手輸入ト其ノ基本的ノ配給ヲ
ヤラセテ居ル譯デアリマス、其ノ取扱ツテ
居リマスル品目ハ、玉蜀黍、高粱、玉蜀黍ハ
滿洲ト第三外國ノ「ヂャワ」、蘭領印度、「アル
ゼンチン」ト云フ所カラ參ツテ居リマス、
ソレカラ高粱ハ滿洲ダケカラ參ツテ居リマ
ス、其ノ他此ノ二者ヲ混合シタ混合飼料、
更ニ昨年ノ秋ニナリマシテ變ガ非常ニ昂騰
シテ參リマシタノデ、變ヲ其ノ品目ニ加ヘ

テ目下四品目ノ統制ヲ行ツテ居ル譯デアリ
マス、斯ウ云フ風ニシテ居リマスガ、尙ホ
不足ノ飼料ヲ補フ爲ニ内地ニ於ケル玉蜀黍
ノ増産ヲヤルコトモ計畫サレテ居ルノデア
リマス、是ハ昨年カラ五箇年ノ間ニ約八万
噸程ノ生産ヲスルコトニ計畫サレテ居リ
マス、尙ホ此ノ施設ノ運用ヲ致シテ居リマ
ス外ニ、努メテ民間業者其ノ他ト連絡ヲ致
シマシテ、彼等ガ自肅的ニ價格其ノ他ヲ引
下ゲルヤウニ十分ノ努力ヲシテ居リマス、
是等ニ付キマシテハ最近ニ於キマシテ多少
其ノ反響ガアリマシテ、變混合飼料等ノ値
下リヲ見ルヤウニナツタ次第デアリマス
次ニ畜牛ニ關スル施設ト云フモノハ馬ニ
比ベテ非常ニ貧弱デアル、之ヲ擴充スルノ
考ハナイカ、斯ウ云フヤウナ御質問デアツ
タト思フノデアリマスガ、牛ニ對シマシテ
ハ從來ハ單ニ畜産試驗場ニ於キマスル所ノ
施設程度デアツタノデアリマスガ、最近ニ
至リマシテ或ハ畜牛ノ登録ヲ行ヒ、或ハ種
牡牛ノ設置、種牝牛ノ設置ヲ助成スル、或
ハ家畜ノ購入斡旋ニ助成ヲスル、更ニ本年
ハ牛ニ對スル施設トシテ八十八萬圓程ノ御
審議ヲ願ツテ居ル次第ナノデアリマス、固
ヨリ是ノミヲ以テ足レリトスルモノデア
リマセヌケレドモ、私共ハ其ノ生産消費等

ノ經濟關係ヲ考慮シマシテ、順次之ヲ實質
的必要ノアル部分ニ向ツテ押擴メテ行キタ
イト考ヘルノデアリマス、現在ノ機構トシ
マシテハ中央ニ畜産局ガアリマスシ、地方
ニソレ／＼施設ガアリマスガ、我國ニ於ケ
ルヤウナ小サイ經營ノ畜産ヲシテ效果アラ
シメルニハ、是カラ先ニ於キマシテ地方ニ
於ケル所ノ施設ヲ相當充實シテ行ツテ、サ
ウシテ指導ガ十分ニ行渡ルヤウニスル必要
ガアルト考ヘテ居リマスノデ、私ト致シマ
シテハ其ノ方面ニモ十分ニ努メテ行キタイ
ト考ヘテ居リマス

次ニ獎勵助成ノ方面ニ於テ大資本關係ニ
厚イノデヤナイカ、副業的ノ方ニハドウ云
フ酪農ノ方デシテ居ルカト云ツタヤウナ御
話デアツタラウト思フノデアリマス、之ニ
付キマシテハ色々私共ノ方デ助成ヲヤツテ
居リマスル中大企業關係、是ハ北海道ノ酪
聯ノ如キモノヲモ、農家ノ共同施設ニ依ル
モノヲモ含ンデ居リマスガ、大キナモノニ
對シマシテハ無論小サイモノニ見ラレナイ
獨自ナ立場ノモノモアリマス、例ヘテ見マ
スレバ、輸出ノ獎勵ニ關スル所ノ事柄デア
ルトカ云フヤウナモノハ、是ハ小サイモノ
デハ出來マセヌノデ、サウ云フモノハ大キ
ナモノニ行ツテ居リマス、又煉乳ニ付キマ

シテハ原料砂糖ノ戻稅ト云フヤウナモノガ
アリマスルガ、其ノ他ノモノデ特ニ大資本
ノ方ニ行ツテ居ルト云フモノハ左程ニハ見
當ラヌノデアリマス、之ニ反シマシテ農家
ノ方ニ對シマシテハ、其ノ金額ハ十分デア
ルトハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、先程申
上ゲマシタ所ノ牛乳共同施設ノ如キハ相當ニ
貢獻ヲシマシテ、小サイ農家ガ個々別々ニ賣
ルナラバ、或ハ品質ノ低下、或ハ販賣ノ拙劣
トカ云フコトノ爲ニ十分ノ利益ヲ擧ゲ得ナ
カツタノガ、之ニ依ツテ擧ゲ得タト思ウ
テ居ルノデアリマス、其ノ他先程モ申上ゲ
マシタ種牡牛ノ設置種牝牛ノ設置補助、或
ハ牛ノ登録助成、自給飼料ノ促進施設ト云ツ
タヤウナ方面モ農業方面ニ行渡ツテ居ル譯
デアリマス、尙ホ地方ノ生産者團體ノ販賣
ニ付キマシテハ販賣斡旋ノ經費ニ對シテ、
是モ些少ナガラ助成ヲ致シテ居ルヤウナ譯
デアリマス

其ノ次ハ酪農資金ノ融通ニ付テノ御質
問デアツタト思ヒマス、小サイ農家ガ一頭
ノ牛ヲ買フト云フコトハ、是ハ中々普通ニ
シテハ困難ナコトデアリマス、是等ニ對シ
テ資金融通ノ途ヲ十分ニ付ケルト云フコト
ハ極メテ大切ナノデアリマスルガ、從來ハ
畜産組合ヲ通ジマシテ國庫ノ低利資金融通

ノ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、更ニ昨年ニ於キマシテハ産業組合中央金庫ガ産業組合ヲ通ジテ牛資金ノ貸出ヲ相當ニヤル計畫ヲ進シテ參々デアリマスガ、是ハマダサウ澤山ニ貸出ラシテ居ラナイ、即チ利用ガ思フ程ニ行ツテ居ラヌト云フコトヲ聞イテ居リマス、其ノ他此ノ方面ノ資金ヲ尙ホ他ノ經營方面、例ヘバ飼料ノ獲得ト云ツタ方面ニモ利用スル途ハナイカト云ツテ、只今研究中デアリマス、其ノ次ハ輸送機關ノ改善ト云フ御話デアツタと思ヒマス、牛乳ノ輸送ニ付キマシテハ、常ニ鐵道省關係ト連絡ヲ致シマシテ、從來地方ヨリノ色々ノ陳情ニ對シ努力ヲ致シテ居リマスルガ、此ノ點ハ將來トモ故障アル事項ニ對シテハ努力ヲシテ、地方ノ乳ガ消費サレル地方ニ安全ニ、サウシテ優良ナ形ニ於テ入ツテ來ルヤウニシテ行キタイと思フノデアリマス

其ノ次ハ此ノ法令ガ小ナルモノニ對スル保護助成ガ足りナイノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御質問デアツタと思フノデアリマスガ、此ノ法律ノ考ヘテ居リマスル點モ、十分此ノ小サイ酪農業者ヲ保護シテ、サウシテ從來見ラレタヤウナ取引上ノ缺陷カラ來ル所ノ影響ニ依リ不利ヲ無カラシムルヤウニシタイト云フコトニ存スルノデアリマス、或ハ形ニ於テゴチナク見エル所ガアルカトモ思ヒマスルガ、此ノ團體ノ統制ヲ強化スルコトニ依ツテ、生産者ガ極ク適正ナル値段ニ於テ物ヲ賣ルコトガ出來ルヤウニナリマスルナラバ、小サイ農家ハ安心シテ生産ヲシテ行ケルト云フコトニナルノデアリマシテ、其ノ適正ナル取引ニ付キマシテハ、第四條等ニ於キマシテ之ヲ十分行政監督ヲシテ行ク、斯ウ云フ考デ居ルノデアリマス、此ノ點十分其ノ意味ヲ籠メテ考ヘテ作ツテ居ルノデアリ、又運用ニ當リマシテモ、十分其ノ點ヲ考慮シテ進シテ行キタイと思フノデアリマス、尙ホ一方ニ於キマシテ、先程來申上ガマシタヤウナ獎勵施設ノ運用擴充ニ付テモ、此ノ點遺憾ナキヲ期シテ行キタイト考ヘテ居リマス

其ノ次ハ此ノ規定ノ運用上第三條等ノ統制規定ガ妥當デナイ時ニ、之ヲ救済スルノ規定ガナイデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御質問ガアリマシタガ、是ハ此ノ團體ノ統制モ其ノ團體ノ申請ニ依ツテ之ヲヤツテ行クノデアリマス、此ノ不合理ナ點ハ之ヲ十分ニ監督スルコトガ出來、尙ホ是ハ法律ニハ載ツテ居リマセスガ、豫算ニ於テ御檢討ヲ願ヒマシタ所ノ販賣統制ノ中ニ、地方ニ協議會ヲ設ケルコトニナツテ居リマスノデ、是等ノ點ハ地方ノ協議會ニ於テ十分話合ヒヲシマシテ、從來ノヤウナ一方的ニ決メラレルコトノナイヤウニ、公正妥當ナル所ノ解決ノ付クヤウニヤツテ行ケルコトト考ヘテ居リマス、大要御質問ノ點ヲ御答辯申上ガマス

○池田委員 主食品トシテ大ニ普及スル意思ハナイカト云フ御答辯トシテ、縷々述べラレタノデアリマスガ、農林省カラ出テ居ル資料ニ依ツテ見マシテモ、主トシテ輸出ヤ何、カラ獎勵スルト云フヤウナ意味ニ見ラレル點ガ多イノデアリマスガ、主食品トシテ、大ニ國民保健ノ上カラ一般ニ之ヲ食品トシテ普及スルト云フコトニ付テハ、全ク其ノ觀念ガ缺如シテ居ルヤウニ私ハ思フノデアリマス、元來輸出ト云フモノハ自國ノ國民ノ衣食住ヲ十分ニ、而モ優良ナルモノヲ供給シテ、剩ツタナラバ之ヲ輸出スルト云フノガ、輸出トシテノ根本的觀念デアリハシナイカト私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ尙ホ一步進シテ此ノ根本觀念ヲ改メラレルコトガ、私ハ必要デハナイカト思フノデアリマス

是ト關聯シテデアリマスガ、牛乳ノ配給ニ付テ、是ハ一寸理想論カモ知レマセスガ、私ハ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、郵便ノ配達トカ或ハ鐵道省ノ配達トカ、色々ノ官業ノ系統的ノ配給機關ト云フモノハ、地域ノ關係ニ於テ非常ニ好ク出來テ居ルノデアリマス、隨テ經費ヲ省イテ非常ニ經濟的ニ配達ガ出來ル、例ヘバ麴町ナラバ麴町區ニ一日ニ何石牛乳ヲ必要トスルト云フヤウナ場合ニ、個々ニ小石川カラモ來ル、本郷カラモ來ル、麻布カラモ來ルト云フヤウニ、遠カラ盛ニ競爭シテヤルト云フコトハ、非常ニ不經濟ト思フ、其處マデ行クコトハ非常ニ難カシイコトデアルトモ思フガ、苟モ統制ガ需給ノ圓滑ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ眼目ガ立テラレテ居ルトスルナラバ、現在ノ狀態ニ於テ犬牙錯綜即チ入亂レタル配達狀態ヲ一變シテ之ヲ統制スルト云フコトガ、理想デナケレバナラヌト思フノデアリマス、小石川ニハ何石、本郷ニハ何石ト是ガ出來ルナラバ、大變是ハ好イ方法ト私ハ思フ、併シソレハ理想デアツテ、現實ニ行フコトハ出來ナイトドナタモ言ハレルノデアリマセウガ、併シナガラ茲ニ或ル統制制度ガ設ケラレテ、業者ニ對シテ色々ナ便利ガ與ヘラレテ居ル以上ハ、業者モ亦之ニ向ツテ相當ノ經濟的考慮ヲ拂フト云フコトガ、必要デハナイカト思フノデアリマス、或ハ麴町ヲ二ツニ割ツテモ宜シイ、或ハ神田

ヲ三ツニ割ツテモ宜シイガ、茲ニ販賣業者ガ、此處ト此處ハ此處ト決メテ、御互ニ之ヲ融通シ合ツテ行クト云フヤウニ斡旋ヲサレルナラバ、現在ノ程度ニ於テモ必ズシモ不可能デナイト、私ハ思フノデアリマスガ、サウ云フ御世話ヲオ焼キニナル御考ハ無イカドウカラ伺ヒタイノデアリマス、是ガ郵便ノヤウニ行クナラバ、非常ニ好イコトデアルト思ヒマス、是ハ一ツノ例デアリマスケレドモ、極ク手近イ近郊デ生産スル所ノ牛乳ヲ、生産業者ガ直チニ需要家ニ向ツテ新鮮ナル牛乳ヲ配達スルコトガ出來ルナラバ、生産業者ハ非常ニ高ク賣ルコトガ出來ル、又需要家ハ新鮮ナル牛乳ヲ安ク買フコトガ出來ルト思フノデアリマス、千葉縣畜産聯合會ノ共同精乳所ガ東葛飾郡法典村ニアルサウデアリマスガ、此ノ精乳所ハ土地高燥ニシテ環境甚ダ宜シク、理想的ノ模範乳舎デアルト聞イテ居ルノデアリマス、最新式ノ處理設備ニ依ツテ造ラレタ精乳ハ「トラック」ヲ以テ五十分デ東京ニ輸送ガ出來ル、其ノ輸送サレタモノハ直ニ共同煉乳其ノ他ノ販賣、購買、利用組合等ノ手ヲ通ツテ山ノ手ノ消費組合ニ供給サレテ、非常ナ便宜ヲ得テ居ル、吾々家庭ニ於テハ今一合十錢内外ノ乳ヲ買ウテ居ルノデアリマス

ガ、共同販賣組合ノ手ヲ經タ牛乳ハ非常ニ良クテ而モ一合五錢デ配給サレルト云フコトデアリマス、千葉縣アタリデハ一升二十五錢ト云フ牛乳ハナイラシイ、房州ノ如キハ十八錢デアツタノガ僅ニ一錢値上シテ十九錢ニナツタト云フコトデアリマシテ、全ク生産者ハ牛乳販賣業者ニ利益ヲ斷斷サレテ、搾取サレテシマフ、搾取ト云フ言葉ハ牛乳ノ方カラ來タノデハナイカト私ハ思フノデアリマス(笑聲)若シ出來ルナラバ斯ウ云フ搾取ヲ廢メテ、郵便配達ノ如ク朝早く時間ヲ決メテ、第一配達、第二配達ト云フヤウニズツト配達シテ戴クナラバ、幼兒ニ取ツテハ非常ニ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、惡イ統制ダケシテ、良イ統制ヲヤラスト云フコトニナレバ、統制ノ價值何處ニアリヤト思フノデアリマス、ソコマデ進ンデオヤリニナルコトハ、今直チニヤルコトハ難カシイカモ知レマセスガ、少クトモ販賣業者ヲ説キ付ケテ世話焼キヲシテ、神田、本郷ヤ品川ノ奥カラ麴町マデ配達スルト云フコトノナイヤウ經濟的配給方法ト申シマセウカ、現在ノ制度デ郵便配達式ニ出來ナイナラバ、セメテ其ノ位ナコトハオヤリニナレナイモノカ、ソコマデ行クナラバ、牛乳ヲ主食品トシテ幼兒ノ保健衛生

ニ遺憾ナキラ期スルコトガ出來ルノデハナイカト思ヒマス、是ハ少シ理想ニ走ルカモ知レマセスガ、ソレニ近キ斡旋ヲナサル考ハナイカ伺ツテ見タイノデアリマス
次ニ主業カ副業カノ問題デ御答ニナリマシタ所ノ北海道ノ如ク酪農專門ニ、貯藏倉庫ヲ設ケ或ハ漬物ニシテ御蓄メニナルト云フコトハ、集團的經營方法ニ依ツテ初メテ出來ルノデアリマシテ、是ハ良キ保存方法デアルトハ思ヒマスガ、千葉縣ヤ靜岡縣邊リノ飛離レタ個々ノ農家ニ對シテ、此ノ方法ガ一軒々々旨ク行クカドウカ疑問ガアリハシナイカト思ヒマス、貯藏倉庫マデ一々取リニ行カケレバナラヌト云フヤウナ缺點モアルノデアリマスガ、サウ云フコトハ臨時費デ一回サウ云フ設備ヲスレバアトハ構ハヌト云フナラバ別デアリマスガ、經常費トシテサウ云フ補助費ガアルナラバ、點點遠ク離レタ所ニ作ラレルヨリモ農家ニ對シテハ部落々々ニソレニ相當スル補助金ヲ與ヘテ、小サナモノヲ勝手ニ自主的ニ作ラセルヤウナ御考ハアリマセヌカ、集團的大農組織ノ牛酪業者ニ付テハ設備ガ行届イテ居ルカ知レマセヌケレドモ、サウスルノデナケレバ個々ノモノニ付テハ行届カナイ憾ミガアリハシナイカト思フノデアリマス、

サウ云フ飛離レタ個々ノ小サイ業者ニ對シテハ面倒デアアリマセウケレドモ、何トカサウ云フ補助獎勵ヲナサル御考ハナイカト云フコトヲ重ネテ伺ヒタイノデアリマス
最後ニ不當處分ニ對シテ何カ救済方法ハナイカト云フコトニ付テノ御答トシテ、協議會ト云フモノガ出來テ居テ片手落ノコトハシナイカラ宜カラウト云フコトデアリマス、是ハ一應御尤ナ御答辯デアリマスケレドモ、其ノ協議員ト云フノハ天降リ式ノ者ガ多イト思ヒマスガ、此ノ協議員ノ選出方法ハドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカ、農家ノ生産業者カラ何人、販賣業者カラ何人ト云フヤウナ標準デモアルノデアリマスカ、今ノ協議員ハ御上ノ御指圖ニ依ツテ出來ル勸選議員のモノデアリマシテ、或ハ資本金等ノ御機嫌ヲ伺フヤウナ御用委員ガ多イノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ協議員ナラバ、幾ラ出來タ所デ、小前ノ者ニハ餘リ效能ガナイノデハナイカト思ヒマス、其ノ勸選議員のナ御上ノ命令ニ依ツテ出來ル協議員ガ、地方長官ナリ、或ハ行政官廳ノ不當處分ニ對シテ之ヲ匡正スル權能ヲ持ツテ居ルト思ハレルナラバ、是ハ大キナオ聞達ヒダト思ヒマス、又此ノ協議員ノ素質如何ニ依リマシテハ、全

ク有名無實ニ終リハシナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ヲ有名無實ナラシメザル組織ニナツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○岸政府委員 御質問ノ第一ノ問題ハ、此ノ計畫ハ輸出ニ重點ヲ置イテ居ルヤウデ、國民榮養トシテ考究スルコトヲ閑却シテ居ルノデアリナイカト云フヤウナ點ニアツタと思フノデアリマスガ、此ノ牛乳ノ生産ノ計畫ニ於テ第一ニ重點ヲ置イテ居リマスノハ、精乳トシテ利用スルコト云フ點ニアルノデアリマス、是ハ國民ノ榮養ノ上カラ云ツテ其ノ方ニ事ハ缺カセスト考ヘテ居ルノデアリマスガ、他面現在ノ日本ノ國際收支ノ關係カラ言ヒマス、少シデモ輸出ラシテ、サウシテ外貨ヲ獲得スルヤウナコトヲ色々ノ角度カラ研究シナケレバナラスト考ヘマスノデ、其ノ計畫ヲ加ヘテ私共ハ増殖モヤリ、指導モシテ行クト云フ考デ居ルノデアリマシテ、其ノ點ニ於テハ決シテ御心配ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ配給機構ノ問題ニ付テ、ソレヲ改善スルト云フ御話ハ、是ハ恐ラク都市ニ於ケル市乳ノ配給ノ改善デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ從來共東京ニアツテハ警視廳其ノ他

ト連絡ヲ取ツテ、私ノ方モ出來ルダケ協力致シテ居ルノデアリマス、此ノ改善ト申シマスノハ、衛生方面ノ問題モ非關ニ關係シテ居リマスシ、又中小商業ヘノ影響モアリマスノデ、簡單ニ手ヲ著ケル譯ニハ行カナイト思ヒマス、此ノ點慎重ニ考慮研究ヲシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、私共ト致シマシテハ兎ニ角都市ニ對シテ不自由ノナイ數量ヲ供給スルヤウニ生産ノ計畫ヲ立テ、サウシテ其ノ方面ニ對スル第一次ノ配給ヲ圓滑ニヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、農家ノ乳ノ都市ニ對スル進出モ之ニ考ヲ置イタノデアリマシテ、先程モ申上ゲマシタヤウナ牛乳ノ共同處理施設ノ獎勵ト申シマスルノハ、農家ガ一戸々々持ツテ來ルト云フコトハイケナイガ、纏メテ衛生的ノ見地カラ見デ適當ナ處理ラシテ之ヲ持ツテ來ル、サウスルナラバ十分ニ大キナ牧場ガ經營シ、大キナ牧場ガ出スト同ジヤウナ效果ヲ擧ゲ得ルト云フ風ニ考ヘタカラデアリマス、現在ニ於キマシテモ、先程御話ニナリマシタ千葉縣ノ精乳所ノ牛乳トカ、或ハ東京府下ノ多摩ニアリマス所ノ産業組合ノ牛乳デアリマストカ、或ハ群馬縣ノ牛乳デアリマストカ、ヤハリサウ云フ形デ東京ノ所謂「ミル

ク・プラン」業者ノ手ニ入ツテ配給サレテ居ルノデアリマス、ソレカラ後ノ工程ト云フモノハ東京市内ニ於ケル所ノ搾乳業者ノ乳ガ配給サレルト同ジ形ヲ取ツテ進ンデ參ルノデアリマス、其ノ次ハ飼料ニ關スル御質問デアリマスガ、私共ノ獎勵致シマスル所ノ飼料ノ貯藏、是ハ「サイロ」ト云ツテ居リマスガ、是ハ仰シヤル通り小サイモノデアリマシテ、約千貫ノ容量ヲ有スルモノヲ目標トシテ、大體各農家ニ一ツツ作ツテ行ク、頭數ニ於テ一ツナリ或ハ其ノ倍ノ容量ナリノモノヲ作ツテ行ク、サウシテ自分ノ所デ出來タモノヲアスコデ貯藏スルト云フ形デ行キタイト考ヘテ居リマス、デアリマスルカラ御話ノヤウナ風ニ助成ラシテ行ク考デアリマス、其ノ次ニ協議會ノ協議員ノ選出ニ付キマシテハ、是ハ官選デアルカラ御用ヲ勤メルダケデヤナイカト云フヤウナ御話モアリマスルガ、私共ハ左様ニ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、是ハ生産者團體或ハ加工業者ノ代表、ソレニ知識經驗ノアル、第三者トシテ客觀的ニ物ヲ見テ戴ケル人、ソレカラ地方ニ於ケル官吏等ガ加ハツテ地方ノ協議會ガ出來、中央ニアツテモ同様ノ考ノ下ニ選ンデ行クト云フ考デ居ルノデアリマス、細カイ數等ニ付テハマダ具

體的ニ出來テ居ルモノハアリマセスガ、サウ云フ考デ參リマスノデ、兩者各、ノ立場カラ見タモノト第三者カラ見タモノトニ依ツテ大體妥當ノモノガ得ラレルト考ヘテ居ル譯デアリマス

○池田委員 最後ノ不當處分ニ對スル救済策ニ付テハ、森林法其ノ他ノ法規ニ於テモ、主トシテ權利ガ不當ニ抑壓サレルト云フ風ナ場合ガ必ズシモ無キニアラズト思フノデアリマス、此ノ場合ニ於テ中央官廳、農林省ノ不當施設ニ對シテハ行政訴訟カ何カノ途ガアレバ別デスガ、我國ノ行政訴訟ハ列舉主義デアツテ、何々何々ハ行政訴訟ヲ起シ得ルトアルカラ、ソコマデハ行カナイマデモ、地方官廳ノ不當處分ニ對シテハ、其ノ官廳ヲ通シテ上級官廳ニ異議ノ申立ラスルトカ何トカ救済方法ハアルト思フノデアリマス、森林法ノ場合ニ於テモ此ノ處分ニ對シテハ其ノ省ヲ經テ上級官廳ニ救済ヲ求メル一ツノ規定ヲ入レタノデアリマシガ、本法第三條第四條ハ地方官廳ト中央官廳トニ關スル規定デナイカト思フノデアリマシケレドモ、少クトモ地方官廳ノ不當處分ニ對シテ吾々泣寝入ヲシナケレバナラスト云フコトハ餘リニ業者ニ對スル壓迫デハナイカト思フ、サウ云フコトガナケレ

バ宜シイノデアリマスガ、若シアツタ場合
ドウスルカト云フコトニ付テハ、省令デモ
宜シイ、サウ云フ方法ヲ設ケラレル考ハナ
イカ、併シソコマデ決メル規定ハナイデヤ
ナイカト云フ御考デアルノカドウカ、是ハ
一應協議會ガ地方官廳ト組ンデ、自分ノ都
合ノ好イヤウナコトヲヤツタトカ或ハ輸出
業者、大資本業者ノ御先棒ヲ擔イダト云フ
ヤウナ場合ニ、之ニ關シテ何等カノ救濟便
宜規定デモアツタ方ガ私ハ宜カラウト思フ
ノデアリマスガ、其ノ點ヲ附加ヘテ承ツテ
見タイノデアリマス

○岸政府委員 固ヨリスウ云フ根本ノ考ハ
私共ハ協力ニ依ツテ進ンデ行キタイト考ヘテ
居ルノデアリマス、サウ云フ點モ無論考ヘ
テハ居リマシタケレドモ、此ノ點ハ十分ニ
折合ツテ行ケルモノト考ヘテ居リマス、尙
ホ此ノ決定ニ付キマシテハ、無論中央ニ於
ケル協議會等ニ於キマシテモ、サウ云フヤ
ウナ方針ヲ取上ゲテ、サウシテ行政方面ノ
監督ニ依ツテ或ル程度マデハ、サウ云フヤ
ウニナツタ場合ニ於テハ之ヲ抑ヘテ行ケ
ル、是正サセテ行ケルデアラウト考ヘテ、サ
ウ云フ方面ノ努力ニ依ツテ圓滿ニ進ンデ行
キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○池田委員 尙ホ本日ハ他省ノ關係ノ方々

ガオ居デゴザイマセスカラ、私ハ此ノ程度
デ打切りマシテ、他省ノ大臣等ガオ出ニナ
ツタ場合ニ、腑ニ落チナイ點ヲ御尋スルコ
トニシテ、留保シテ置キタイト思フノデア
リマス、本日ノ質問ハ私ハ是ダケデ終リマ
ス

○田中委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、
明後日午前十時カラ開會致シマス

午後零時十分散會

昭和十四年三月二日印刷

昭和十四年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局